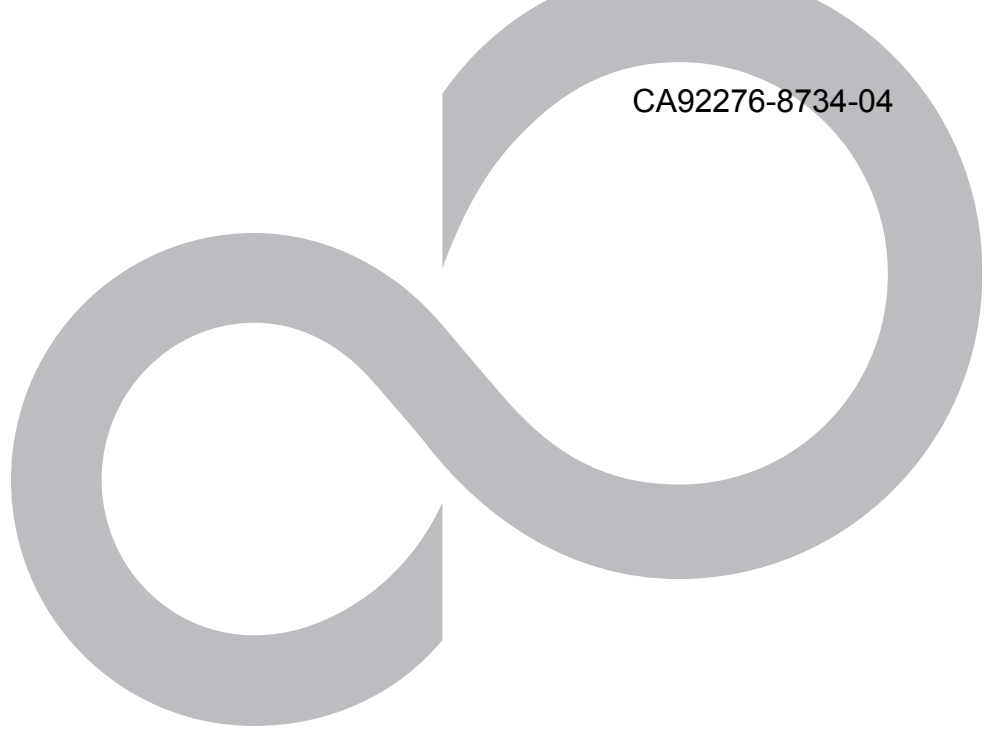


PRIMERGY

TX120 S2 対応





OS の手動インストール

本書をお読みになる前に

本書の表記

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

| | |
|---|--|
|  | お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。 |
|  | 操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。 |

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■ DVD-ROM ドライブの表記について

本書では、DVD-ROM ドライブを「DVD ドライブ」と表記しています。

■ コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

diskcopy a: a:

↑ ↑

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを1回押してください。
- 使用するOSがWindowsまたはDOSの場合は、コマンド入力を英大文字、英小文字のどちらで入力してもかまいません。
- お使いの環境によって、「¥」が「\」と表示される場合があります。
- DVDドライブのドライブ文字は、お使いの環境によって異なるため、本書では「DVD ドライブ」で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ文字を入力してください。

「DVD ドライブ」：¥setup.exe

■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■ 他のマニュアルの表記

本文中では、本書以外のマニュアルを『(マニュアル名称)』と表記しています。

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつないで表記しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム（またはプログラム）」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称の略称

| 製品名称 | 本文中の表記 | | | | | |
|---|---|--------------------------------|---------------------|---------|--|--|
| Microsoft® Windows Server® 2008 Standard | Windows Server 2008 Standard (32-bit) | Windows Server 2008 Standard | Windows Server 2008 | Windows | | |
| | Windows Server 2008 Standard (64-bit) | | | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™ | Windows Server 2008 Standard (32-bit) | | | | | |
| | Windows Server 2008 Standard (64-bit) | | | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise | Windows Server 2008 Enterprise (32-bit) | Windows Server 2008 Enterprise | | | | |
| | Windows Server 2008 Enterprise (64-bit) | | | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™ | Windows Server 2008 Enterprise (32-bit) | | | | | |
| | Windows Server 2008 Enterprise (64-bit) | | | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard | Windows Server 2008 R2 Standard | | | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise | Windows Server 2008 R2 Enterprise | | | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition | Windows Server 2003 | | | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition | Windows Server 2003 R2 | | | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition | Windows Server 2003 x64 [注 1] | | | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition | Windows Server 2003 R2 x64 | | | | | |
| Microsoft® Windows® Small Business Server 2003 | SBS 2003 [注 1] | | | | | |
| Microsoft® Windows® Small Business Server 2003 R2 | SBS 2003 R2 | | | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2003 Service Pack | Service Pack | | | | | |
| Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Service Pack | | | | | | |

[注 1] 本書内で特に断りがない箇所は、Windows Server 2003 に含まれます。

Windows Server 2008 の対応状況については、弊社 HP (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/>) に随時最新情報を掲載しています。ご確認ください。

■ 商標

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2011

目次

| | | |
|--------------|--|-----------|
| 第 1 章 | OS インストールタイプの手動開封 | 6 |
| 1.1 | Windows Server 2003 R2 の手動開封 | 7 |
| 第 2 章 | Windows Server 2003 のインストール | 9 |
| 2.1 | インストール前の準備 | 10 |
| 2.1.1 | ドライバディスクの作成 | 10 |
| 2.1.2 | アレイの構成 | 11 |
| 2.1.3 | 内蔵オプションの取り付け | 11 |
| 2.2 | インストール手順 | 12 |
| 第 3 章 | Windows Server 2008 のインストール | 16 |
| 3.1 | インストール前の準備 | 17 |
| 3.1.1 | ドライバディスクの作成 | 17 |
| 3.1.2 | アレイの構成 | 18 |
| 3.1.3 | 内蔵オプションの取り付け | 18 |
| 3.2 | インストール手順 | 19 |
| 第 4 章 | Windows Server 2008 Server Core のインストール | 28 |
| 4.1 | インストール前の準備 | 29 |
| 4.1.1 | ドライバディスクの作成 | 29 |
| 4.1.2 | アレイの構成 | 30 |
| 4.1.3 | 内蔵オプションの取り付け | 30 |
| 4.2 | インストール手順 | 31 |

第 1 章

OS インストールタイプの手動開封

OS インストールタイプを手動で開封する手順を説明します。

1.1 Windows Server 2003 R2 の手動開封

1.1 Windows Server 2003 R2 の手動開封

次の手順に従って、Windows Server 2003 R2 のセットアップを行ってください。開封時の設定の詳細については、次の URL からご覧ください。

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/windowsserver/default.aspx>

[Windows Server 2003] → [オペレーティング システムのインストールとアップグレード] → [オペレーティング システムをインストールおよびアップグレードする方法] → [新規インストールでサーバー設定を入力する]

- 1 サーバの電源を入れ、次のメッセージが表示されたら、【Ctrl】+【F】キーを押します。

ServerView SuiteDVD を使用すると、区画サイズの変更、高信頼ツールのインストールが可能です。ServerView Suit DVD を挿入し、Ctrl+Alt+Del を押してください。

Windows Server 2003 セットアップが起動し、「Windows セットアップウィザードの開始」画面が表示されます。

- 2 [次へ] をクリックします。

ライセンス契約の画面が表示されます。

- 3 表示された使用許諾契約の内容をよく読んだうえで、[同意します] を選択して [次へ] をクリックします。

ソフトウェアの個人用設定の画面が表示されます。



[同意しない] を選択してセットアップを終了した場合、再度開封したときにインストールドライブのサイズが規定値（12GB）以上になります。必ず [同意します] を選択して開封処理を行ってください。

- 4 名前と組織名を入力し [次へ] をクリックします。

組織名は省略できます。

ライセンスモードが表示されます。

- 5 ライセンスモードを設定し、[次へ] をクリックします。

- 6 コンピュータ名と Administrator のパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

コンピュータ名は自動的に作成されて表示されますが、変更できます。

- 7 ネットワークの設定を行い、[次へ] をクリックします。

「カスタム設定」を選択した場合は、「ネットワーク コンポーネントの設定」画面が表示されます。

- 8 ワークグループ、またはドメイン名を設定し、[次へ] をクリックします。

自動的に再起動が行われ、Windows Server 2003 R2 が起動します。

9 Administrator でログオンします。

セットアップ後のセキュリティ更新の画面が表示されます。画面の説明をよくお読みいただき、必要な操作を行ってください。



- ◆ 「セットアップ後のセキュリティ更新」が完了するまで、すべての着信接続はブロックされます。
- ◆ 「セットアップ後のセキュリティ更新」を完了後、コンピュータを再起動してから運用を開始してください。

これで Windows Server 2003 R2 の開封作業は終了です。

初回起動時は、必ず Administrator でログオンしてコンピュータを再起動してから運用を開始してください。

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は『ユーザーズガイド』の「第 4 章 OS インストール後の操作」をご覧ください。必要な操作を行ってください。

第 2 章

Windows Server 2003 の インストール

2

手動で Windows Server 2003 をインストールする
手順を説明します。

- 2.1 インストール前の準備
- 2.2 インストール手順

2.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

2.1.1 ドライバディスクの作成

インストールに必要なドライバディスクをあらかじめ作成します。

ハードウェア構成により作成するドライバディスクが異なります。ご使用の構成をご確認のうえ、ドライバディスクを作成してください。



最新のドライバは、インターネット情報ページ内の『ダウンロード』で提供しています。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

Windows Server 2003 の場合

| オンボード LAN / 拡張カード / アレイコントローラ | ドライバ |
|---|--|
| オンボード LAN/LAN カード (PG-285L/PG-2861L/PG-289L/PG-288L) | Onboard / PG-18xx/28xx LAN Driver V13.1 |
| SCSI カード (PG-2281L) | OS 標準提供のドライバ |
| 上記以外の拡張カード | 各拡張カードに添付のドライバ |
| オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) | Embedded MegaRAID SATA Windows Driver V13.11 |
| SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS) PG-254BC | Integrated Mirroring SAS Windows Driver V1.29.03.0 |
| SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) PG-248B1/PG-248B4/PG-248H1/PG-248L1 | MegaRAID SAS Windows Driver V4.23.0 |

2.1.2 アレイの構成

アレイ構成で運用を行う場合は、OS をインストールする前に、アレイを構成してください。
使用するアレイコントローラにより、作成方法が異なります。
アレイの構成については次のマニュアルをご覧ください。

オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) をご使用の場合

ServerView Suite DVD2 内にある『Embedded MegaRAID SATA ユーザーズガイド』の「第 2 章 アレイの構成 (SATA セットアップユーティリティ)」をご覧ください。

SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS) をご使用の場合

ServerView Suite DVD2 内にある『Integrated Mirroring SAS ユーザーズガイド』の「第 2 章 アレイの構成と管理 [BIOS Utility]」をご覧ください。

SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) をご使用の場合

ServerView Suite DVD2 内にある『MegaRAID SAS ユーザーズガイド』の「第 2 章 アレイの構成と管理 [WebBIOS]」をご覧ください。

2.1.3 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については『ユーザーズガイド』の「第 2 章 内蔵オプションの取り付け」をご覧ください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■ OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

- ・内蔵データカートリッジドライブユニット
- ・ETERNUS などの外付けストレージシステム

■ OS インストール前の留意事項

● 内蔵データカートリッジドライブユニットをご使用の場合

インストール前に必ずデータカートリッジドライブの接続ケーブルを本体よりはずしてください。

インストール完了後接続ケーブルを再度接続し、ご使用ください。

● ETERNUS などの外付けストレージシステムをご使用の場合

AC ケーブルを接続しないなど、OS のインストールが終了するまで、外付けストレージシステムの電源を入れないでください。

2.2 インストール手順

Windows Server 2003、2003 x64、SBS 2003 の手動インストール手順について説明します。OS の詳細な設定については、次の URL をご覧ください。

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/windowsserver/default.aspx>

[Windows Server 2003] → [オペレーティング システムのインストールとアップグレード] → [オペレーティング システムをインストールおよびアップグレードする方法] → [新規インストールでサーバー設定を入力する]



- ◆ 外付けのフロッピーディスクを使用する場合は、サーバの電源を入れる前に、USB 接続のフロッピーディスクドライブが接続されていることを確認してください。

■ 用意するもの

- Windows Server 2003 （または x64）の DVD/CD（インストールディスク）[注]
 - ServerView Suite DVD（本体に添付）
 - あらかじめ用意したドライバを記録した媒体
- [注] インストールディスクは、Service Pack1 以降が適用されている媒体を使用してください。

1 サーバの電源を入れます。

2 Windows Server 2003（または x64）の DVD/CD、アレイコントローラのドライバディスクをセットします。

サーバの電源を入れてすぐに Windows Server 2003 （または x64）の DVD/CD を DVD ドライブに、アレイコントローラのドライバディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD. . . .

この場合、メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD ドライブからブートします。

3 Windows Server 2003 （または x64）セットアップ画面が表示されます。

セットアップ画面表示直後に次のメッセージが画面下に表示されるので、【F6】キーを押します。

Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver ...



このメッセージは、セットアップ画面（青い画面）が表示された直後のわずかな時間しか表示されませんので、画面が青色に変わった後すぐに【F6】キーを押してください。

4 アレイコントローラのドライバを手動で組み込みます。

1 次のメッセージが表示されたら【S】キーを押します。

To specify additional SCSI adapters, CD-ROM drives, or special disk controllers for use with Windows, including those for which you have a device support disk from a mass storage device manufacturer, press S.

2 「Please insert the disk labeled Manufacturer-supplied hardware support disk into Drive A:」というメッセージが表示されたら、【Enter】キーを押します。

次のメッセージが表示されます。

You have chosen to configure a SCSI Adapter for use with Windows, using a device support disk provided by an adapter manufacturer.
Select the SCSI Adapter you want from the following list, or press ESC to return to the previous screen.

なお、これらのメッセージは表示されない場合があります。

3 お使いのコントローラにより、次を選択して【Enter】キーを押します。

- ・ オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) の場合
次より選択します。

LSI Embedded MegaRAID (Windows XP/2003)

LSI Embedded MegaRAID (Windows XP/2003 64-bit)

Intel Embedded Server RAID Technology II (Windows XP/2003)

Intel Embedded Server RAID Technology II (Windows XP/2003 64-bit)

- ・ SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS) の場合

LSI Fusion-MPT SAS Driver (Server 2003 32-bit)

または

LSI Fusion-MPT SAS Driver (Server 2003 x64)

- ・ SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) の場合

LSI MegaRAID SAS RAID Controller Driver (Server 2003 for 32-bit)

または

LSI MegaRAID SAS RAID Controller Driver (Server 2003 for x64)

4 次のメッセージが表示された場合は、【S】キーを押します。

The driver you provided seems to be newer than the Windows default driver.

5 画面の指示に従って、インストールを行ってください。

インストール中にフロッピーディスクをセットするようメッセージが表示された場合は、ドライバディスクをセットして【Enter】キーを押してください。

5 セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。

インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ログテストに合格していない旨のメッセージが表示された場合は、[はい] を選択してインストールを続行してください。

6 Windows Server 2003 (または x64) Service Pack を適用します。

詳細については、画面の説明をご覧ください。

Service Pack 適用時に、ドライバが Service Pack 内のドライバに置換される場合があります。詳細については、各ハードウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

7 ServerView Suite DVD 内のホットフィックスモジュールを適用します。

次のコマンドを実行し、ホットフィックスモジュールを適用してください。

[DVD ドライブ] : ¥HotFixes¥Essential¥W2k3¥WindowsServer2003-KB940467-v2-x86-JPN. exe
または : ¥HotFixes¥940467¥WindowsServer2003. WindowsXP-KB940467-v2-x64-JPN. exe

8 ホットフィックスモジュールを適用します。(下記構成のみ推奨)

SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) PG-248L1 をお使いになる場合は、Microsoft 社の Web ページより、更新プログラムをダウンロードおよび適用してお使いいただくことを推奨します。
<http://support.microsoft.com/kb/957910/>

更新プログラムを適用しない場合、I/O の負荷が高まった際にシステムハング等の問題が発生する可能性があります。

9 チップセットドライバをインストールします。

- 1 ServerView Suit DVD を WindowsOS がインストールされた端末にセットします。
- 2 ServerView Suit DVD 内の以下の zip ファイルを解凍します。

[DVD ドライブ] : ¥DRV¥CHIPSET¥INTEL¥Intel_ChipSets.zip

- 3 解凍したファイル内の以下のファイルを対象サーバにコピーし、実行します。

¥9.1.1.1020¥infinst_autol.exe

- 4 [次へ] をクリックし、以降、画面の指示に従ってインストールを行ってください。
- 5 「セットアップ完了」と画面に表示されたら、[完了] をクリックしてシステムを再起動します。

10 VGA ドライバをインストールします。

- 1 ServerView Suit DVD をサーバにセットします。
- 2 ServerView Suit DVD 内の次のコマンドを実行します。

本体標準 VGA をご使用の場合

- Windows Server 2003 x86

[DVD ドライブ] : ¥DRV¥VIDEO¥MATROX¥iRMC¥W2K3

- Windows Server 2003 x64

[DVD ドライブ] : ¥DRV¥VIDEO¥MATROX¥iRMC¥x64W2K3

11 LAN ドライバをインストールします。

以下の Web から最新の LAN ドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードできる手順書にしたがって LAN ドライバをインストールしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

また、デバイスマネージャで表示されるオンボード LAN の名称は次のようになります。

| |
|---|
| Intel® 82567LM-4 Gigabit Network Connection |
|---|

12 SAS カード／SCSI カードのドライバをインストールします。

SAS カードを搭載している場合は、SAS カードに添付、もしくは Web よりダウンロードした PCI-Express SAS Card Document & Tool CD より、CD 収録のユーザーズガイドに従って SAS カードドライバをインストールしてください。

SCSI カードを搭載している場合は、SCSI カードに添付、もしくは Web よりダウンロードした PCI-Express SCSI Card Document & Tool CD より、CD 収録のユーザーズガイドに従って SCSI カードドライバをインストールしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

13 RAID 管理ツール（ ServerView RAID Manager ）のインストールを行います。

RAID 管理ツールは、アレイコントローラの監視・管理および保守作業を行う為に必要です。
必ずインストール、設定を行ってください。アレイコントローラの『ユーザーズガイド』をご覧の上、
必要な設定を実施してください。

これで Windows Server 2003 のインストールは終了です。

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は、『ユーザーズガイド』の「第 4 章 OS インストール後の操作」をご覧になり、必要な設定を行ってください。

第 3 章

Windows Server 2008 の インストール

3

手動で Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 をインストールする手順を説明します。

- 3.1 インストール前の準備
- 3.2 インストール手順

[注]Windows Server 2008 の対応状況について

弊社 HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/>) に随時最新情報を掲載しておりますので、ご確認ください。

また、一部の製品では、製品添付のソフトウェアは Windows Server 2008 に対応していません。

3.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

3.1.1 ドライバディスクの作成

インストールに必要なドライバディスクをあらかじめ作成します。

- Web (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>) からダウンロードしてドライバを作成する方法については、Web に公開されている手順書をご覧ください。
- ハードウェアの構成により作成するドライバディスクが異なります。ご使用の構成をご確認のうえ、ドライバディスクを作成してください。



最新のドライバは、インターネット情報ページ内の『ダウンロード』で提供しています。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

Windows Server 2008 の場合

| オンボード LAN / 拡張カード / アレイコントローラ | ドライバ |
|---|--|
| オンボード LAN/LAN カード (PG-285L/PG-2861L/PG-289L/PG-288L) | Onboard / PG-18xx/28xx LAN Driver V13.1 |
| SCSI カード (PG-2281L) | OS 標準提供のドライバ |
| ディスプレイドライバ | Onboard VIDEO Driver for Windows 2008/2008 x64/2008 R2 |
| 上記以外の拡張カード | 各拡張カードに添付のドライバ |
| オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) | Embedded MegaRAID SATA Windows Driver V13.11 |
| SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS) PG-254BC | Integrated Mirroring SAS Windows Driver V1.29.03.0 |
| SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) PG-248B1/PG-248B4/PG-248H1/PG-248L1 | MegaRAID SAS Windows Driver V4.23.0 |

Windows Server 2008 R2 の場合

| オンボード LAN / 拡張カード / アレイコントローラ | ドライバ |
|---|--|
| オンボード LAN/LAN カード (PG-285L/PG-2861L/PG-289L/PG-288L) | Onboard/PG-18xx/PG-28xx LAN Driver V15.1.2 |
| SCSI カード (PG-2281L) | OS 標準提供のドライバ |
| ディスプレイドライバ | Onboard VIDEO Driver for Windows 2008/2008 x64/2008 R2 |
| 上記以外の拡張カード | 各拡張カードに添付のドライバ |
| オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) | Embedded MegaRAID SATA Windows Driver V13.11 |
| SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS) PG-254BC | OS 標準のドライバをお使いください |
| SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) PG-248B1/PG-248B4/PG-248H1/PG-248L1 | MegaRAID SAS Windows Driver V4.23.0 |

3.1.2 アレイの構成

アレイ構成で運用を行う場合は、OS をインストールする前に、アレイを構成してください。
使用するアレイコントローラにより、作成方法が異なります。
アレイの構成については次のマニュアルをご覧ください。

オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) をご使用の場合

ServerView Suite DVD 2 内にある『Embedded MegaRAID SATA ユーザーズガイド』の「第 2 章 アレイの構成 (SATA セットアップユーティリティ)」をご覧ください。

SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS) をご使用の場合

ServerView Suite DVD 2 内にある『Integrated Mirroring SAS ユーザーズガイド』の「第 2 章 アレイの構成と管理 [BIOS Utility)」をご覧ください。

SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) をご使用の場合

ServerView Suite DVD 2 内にある『MegaRAID SAS ユーザーズガイド』の「第 2 章 アレイの構成と管理 [WebBIOS)」をご覧ください。

3.1.3 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、ServerView Suite DVD 内 2 の『オプションガイド』をご覧ください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■ OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

- ・内蔵データカートリッジドライブユニット
- ・ETERNUS などの外付けストレージシステム

■ OS インストール前の留意事項

● 内蔵データカートリッジドライブユニットをご使用の場合

インストール前に必ずデータカートリッジドライブの接続ケーブルを本体よりはずしてください。
インストール完了後接続ケーブルを再度接続し、ご使用ください。

● ETERNUS などの外付けストレージシステムをご使用の場合

AC ケーブルを接続しないなど、OS のインストールが終了するまで、外付けストレージシステムの電源を入れないでください。

3.2 インストール手順

Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の手動インストール手順について説明します。



- ◆ アレイコントローラとしてオンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) を使用の場合、Windows Server 2008 および Windows Server 2008 x64 の手動インストールには、フロッピーディスクドライブが必要です。手動インストールを行われるお客様は実施前に必ず USB 接続のフロッピーディスクドライブが準備されていることを確認してください。
- ◆ 外付けのフロッピーディスクを使用する場合は、サーバの電源を入れる前に、USB 接続のフロッピーディスクドライブが接続されていることを確認してください。

■用意するもの

- Windows Server 2008 の DVD (インストールディスク)
- ServerView Suite DVD (本体に添付)
- あらかじめ用意したドライバを記録した媒体

1 Windows Server 2008 の DVD-ROM を準備します。

サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2008 の DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。



- ◆ 32-bit 用と 64-bit 用の DVD-ROM がありますので (Windows Server 2008 R2 は 64-bit のみ)、確認してセットしてください。

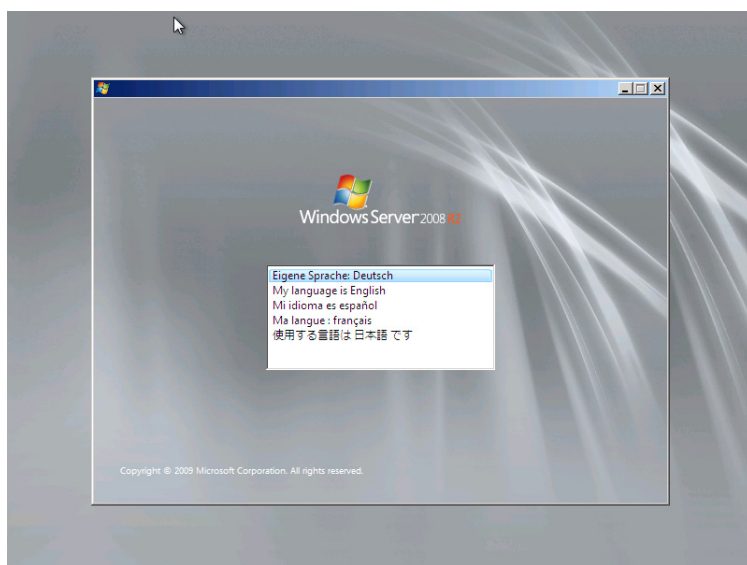
ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD . . .

この場合、メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2008 インストールのセットアップ画面が表示されます。

Windows Server 2008 R2 の場合は、セットアップ画面の前に、次のような言語選択画面が表示されます。使用する言語は 日本語 です。



セットアップ画面に従って各項目を設定した後、[次へ] をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。

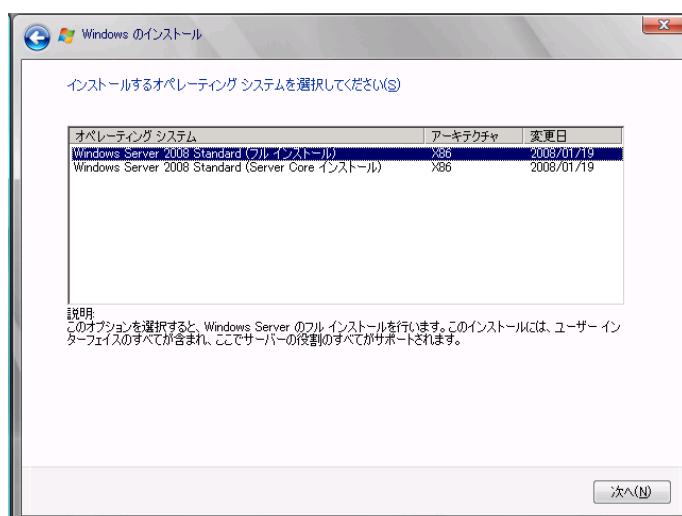


[注] Bit Locker を使用する場合は、インストール時に指定のパーティション構成をする必要があります。詳しくは、次の弊社 HP より「Windows Server® 2008 動作確認情報」→「Windows Server 2008 の一般的な留意事項」の順にクリックし、『BitLocker™ Drive Encryption 機能の留意事項』をご覧ください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/>

3 インストールする Operating System を選択します。

次の画面から「Windows Server 2008 Standard (フルインストール)」または「Windows Server 2008 Enterprise (フルインストール)」を選択します。



- 4 次の画面が表示されたら内容をよく読んだうえで、[条項に同意します] にチェックをつけて、[次へ] をクリックします。



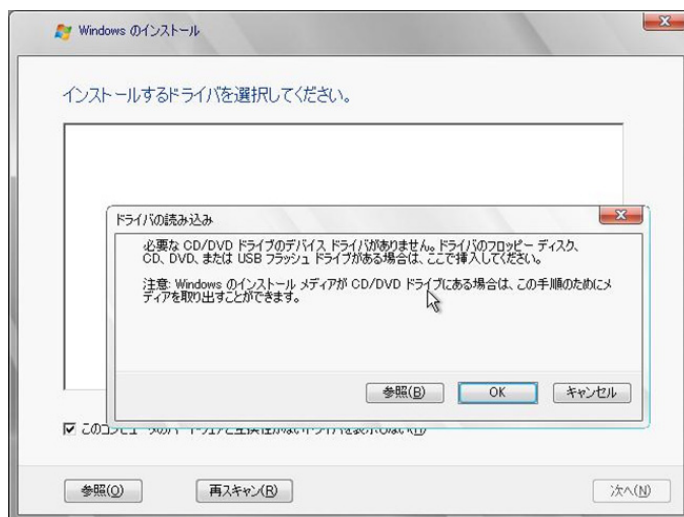
- 5 RAID のドライバを手動で組み込みます。

使用するドライバにより手順が異なります。

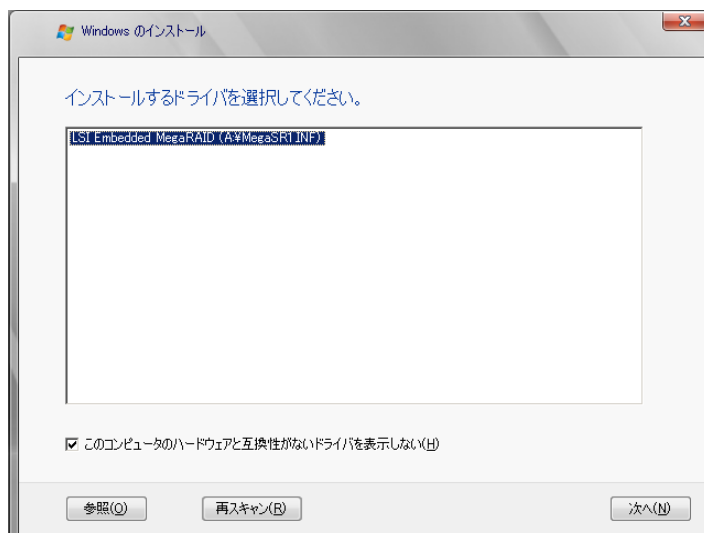
- ・ [オンボードソフトウェア RAID \(Embedded MegaRAID SATA\) 使用時 \(P.22\)](#)
- ・ [SAS アレイコントローラカード \(MegaRAID SAS\) 使用時 \(P.24\)](#)
- ・ [SAS コントローラカード / オンボード IM \(Integrated Mirroring SAS\) 使用時または、アレイ未構成時 \(SAS ハードディスク\) \(P.25\)](#)
- ・ [アレイ未構成時 \(SATA ハードディスク\) \(P.26\)](#)

オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) 使用時**●Windows Server 2008 の場合****1 次の画面で、ドライバ媒体をセットします。**

[参照] をクリックし、インストールドライバの入っているフォルダを選択します。

**2 インストールドライバを選択後、次のメッセージが画面に表示されます。**

LSI Embedded MegaRAID (A:\MegaSR1.INF)

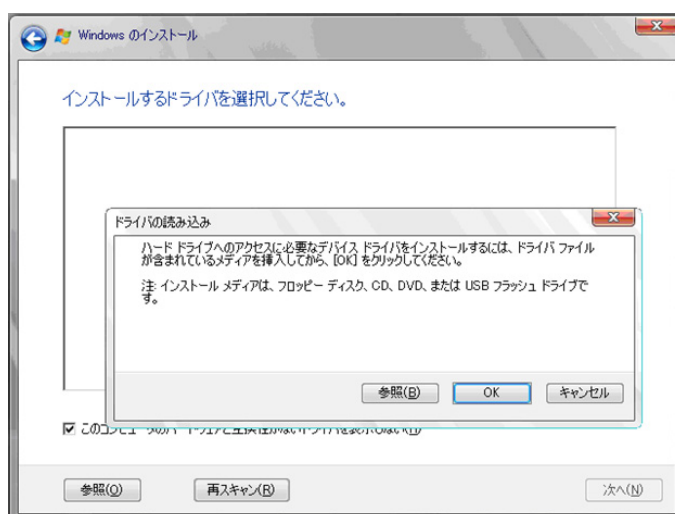
3 [次へ] をクリックした後、[手順 6 OS をインストールします。\(P.26\)](#) へ進みます。

●Windows Server 2008 R2 の場合

- 1 次の画面が表示された後、「ドライバの読み込み」をクリックしドライバインストール画面に移動します。



- 2 次の画面で、ドライバを記録した媒体をセットした後、[参照] をクリックします。



- 3 インストールドライバの入っているフォルダを選択します。
- 4 下記のドライバを選択し [次へ] をクリックしてください。

LSI Embedded MegaRAID

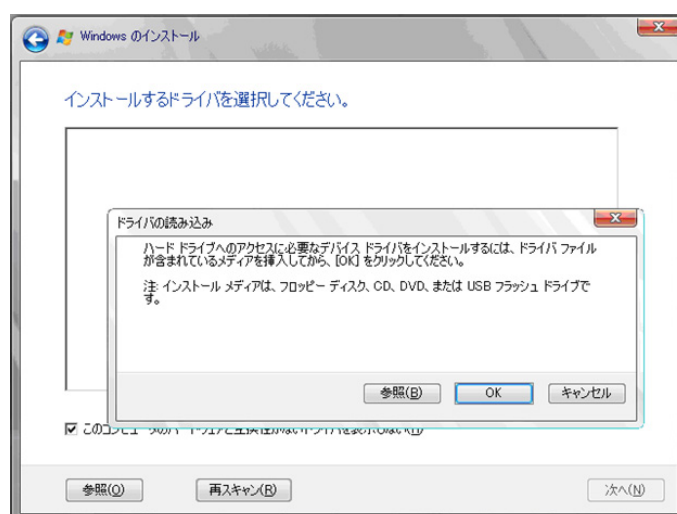
- 5 Windows インストール DVD をセットした状態で、[手順 6 OS をインストールします。](#)
[\(P.26\)](#) へ進みます。

SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) 使用時

- 1 次の画面が表示された後、「ドライバの読み込み」をクリックしドライバインストール画面に移動します。



- 2 次の画面で、ドライバを記録した媒体をセットした後、[参照] をクリックします。



- 3 インストールドライバの入っているフォルダを選択します。
- 4 下記のドライバを選択し [次へ] をクリックしてください。

RAID 5/6 SAS based on LSI MegaRAID

または

RAID Ctrl SAS 6G 5/6 512MB (D2616)

または

RAID Ctrl SAS 6G 0/1 (D2607)

- 5 Windows インストール DVD をセットした状態で、[手順 6 OS をインストールします。](#)
[\(P.26\)](#) へ進みます。

SAS コントローラカード / オンボード IM (Integrated Mirroring SAS) 使用時または、アレイ未構成時 (SAS ハードディスク)

●Windows Server 2008 R2 の場合

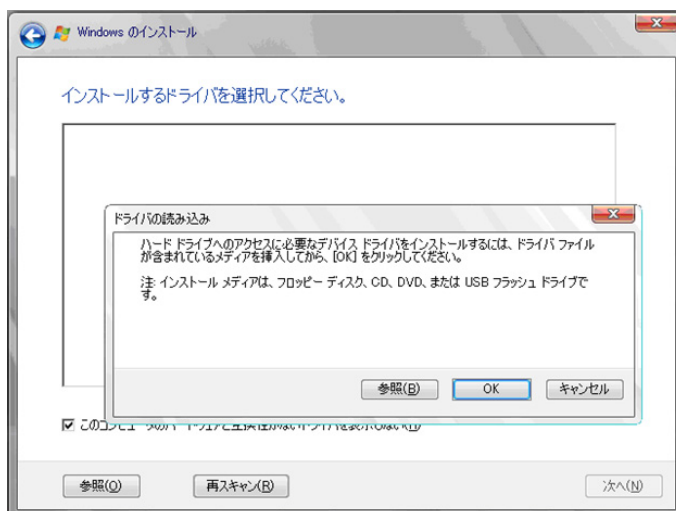
ドライバのインストールは不要です。次の画面が表示された後、「次へ」をクリックし、[手順 6 OS をインストールします。\(P.26\)](#) へ進みます。

●Windows Server 2008 の場合

- 1 次の画面が表示された後、「ドライバの読み込み」をクリックし、ドライバインストール画面に移動します。



- 2 次の画面で、ドライバを記録した媒体をセットした後、[参照] をクリックします。



- 3 インストールドライバの入っているフォルダを選択します。
- 4 下記のドライバを選択し [次へ] をクリックしてください。

| |
|---|
| LSI Adapter, SAS 3000 series, 4-port with 1064E -StorPort |
|---|

5 Windows インストール DVD セットした状態で、[手順 6 OS をインストールします。\(P.26\)](#)へ進みます。

アレイド構成時 (SATA ハードディスク)

ドライバの手動インストールは不要です。[手順 6 OS をインストールします。\(P.26\)](#)へ進みます。

6 OS をインストールします。

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。
インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ログテストに合格していない旨のメッセージが表示された場合は、[はい] を選択してインストールを続行してください。

7 Windows Server 2008 (または x64) Service Pack を適用します。

適用に当たっては次の Web から各装置の留意事項などをご確認ください。
<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/os/2008-sp2/>

8 LAN ドライバをインストールします。

以下の Web から最新の LAN ドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードできる手順書にしたがって LAN ドライバをインストールしてください。
<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

また、デバイスマネージャで表示されるオンボード LAN の名称は次のようになります。

| |
|---|
| Intel® 82567LM-4 Gigabit Network Connection |
|---|

9 Intel Chipset のドライバをインストールします。

Windows Server 2008 R2 をインストールする場合は、ドライバの手動インストールは不要です。
Windows Server 2008 の場合は、次の手順でインストールします。

1 ServerView Suit DVD を WindowsOS がインストールされた端末にセットします。

2 ServerView Suit DVD 内の以下の zip ファイルを解凍します。

[DVD ドライブ] : ¥DRV¥CHIPSET¥INTEL¥Intel_ChipSets.zip 解凍したファイル内の以下のファイルを対象サーバにコピーし、実行します。

[解凍したフォルダ] ¥9.1.1.1020¥infinst_autol.exe

3 [次へ] をクリックし、以降、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

4 「セットアップ完了」と画面に表示されたら、[完了] をクリックしてシステムを再起動します。

10 ディスプレイドライバをインストールします。

下記 Web から該当のディスプレイ ドライバをダウンロードして、次をダブルクリックして実行します。
<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

[DVD ドライブ] : ¥DRV¥VIDEO¥MATROX¥install_kronos2_vga.bat

11 SAS カードのドライバをインストールします。

SAS 拡張カードを搭載している場合、以下の Web から最新の PCI-Express SAS Card Document & Tool CD をダウンロードして、取扱説明書に従って SAS カード ドライバをインストールしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

12 ServerView Operations Manager / ServerView エージェントをインストールします。

ServerView Operations Manager / ServerView エージェントは Web からダウンロードしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

インストール方法については、次のマニュアルをご覧ください。

| 名称 | マニュアル |
|---|--|
| ServerView Agent for Windows | ServerView Windows エージェントユーザーズガイド |
| ServerView Operations Manager for Windows | ServerView Operations Manager ユーザーズガイド |

13 RAID 管理ツール（ServerView RAID Manager）のインストールを行います。

アレイコントローラの『ユーザーズガイド』をご覧くださいの上、必要な設定を実施してください。

14 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼動のために、下記 URL の「留意事項」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、ご覧になり、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフトのダウンロードセンターより入手していただくか、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/os/2008/>

これで Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 のインストールは終了です。
その他のドライバのインストールについては各ドライバのマニュアルを参照してください。

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は、各ツールのマニュアルおよびアレイコントローラのユーザーズガイドをご覧ください、をご覧ください、必要な設定を行ってください。

第 4 章

4

Windows Server 2008 Server Core の インストール

手動で Windows Server 2008 Server Core/
Windows Server 2008 R2 Server Core をイン
ストールする手順を説明します。

- 4.1 インストール前の準備
- 4.2 インストール手順

[注]Windows Server 2008 の対応状況について
弊社 HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/>) に随時最新情報を掲載しておりますので、ご確認ください。
また、一部の製品では、製品添付のソフトウェアは Windows Server 2008 に対応していません。

4.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

4.1.1 ドライバディスクの作成

インストールに必要なドライバディスクをあらかじめ作成します。

- Web (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>) からダウンロードしてドライバを作成する方法については、Web に公開されている手順書をご覧ください。
- ハードウェア構成により作成するドライバディスクが異なります。ご使用の構成をご確認のうえ、ドライバディスクを作成してください。



最新のドライバは、インターネット情報ページ内の『ダウンロード』で提供しています。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

Windows Server 2008 の場合

| オンボード LAN / 拡張カード / アレイコントローラ | ドライバ |
|---|--|
| オンボード LAN/LAN カード (PG-285L/PG-2861L/PG-289L/PG-288L) | Onboard / PG-18xx/28xx LAN Driver V13.1 |
| SCSI カード (PG-2281L) | OS 標準提供のドライバ |
| ディスプレイドライバ | Onboard VIDEO Driver for Windows 2008/2008 x64 |
| 上記以外の拡張カード | 各拡張カードに添付のドライバ |
| オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) | Embedded MegaRAID SATA Windows Driver V13.11 |
| SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS) PG-254BC | Integrated Mirroring SAS Windows Driver V1.29.03.0 |
| SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) PG-248B1/PG-248B4/PG-248H1/PG-248L1 | MegaRAID SAS Windows Driver V4.23.0 |

Windows Server 2008 R2 の場合

| オンボード LAN / 拡張カード / アレイコントローラ | ドライバ |
|---|--|
| オンボード LAN/LAN カード (PG-285L/PG-2861L/PG-289L/PG-288L) | Onboard/PG-18xx/PG-28xx LAN Driver V15.1.2 |
| SCSI カード (PG-2281L) | OS 標準提供のドライバ |
| ディスプレイドライバ | Onboard VIDEO Driver for Windows 2008/2008 x64/2008 R2 |
| 上記以外の拡張カード | 各拡張カードに添付のドライバ |
| オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) | Embedded MegaRAID SATA Windows Driver V13.11 |
| SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS) PG-254BC | OS 標準のドライバをお使いください |
| SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) PG-248B1/PG-248B4/PG-248H1/PG-248L1 | MegaRAID SAS Windows Driver V4.23.0 |

4.1.2 アレイの構成

アレイ構成で運用を行う場合は、OS をインストールする前に、アレイを構成してください。
使用するアレイコントローラにより、作成方法が異なります。
アレイの構成については次のマニュアルをご覧ください。

オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) をご使用の場合

ServerView Suite DVD 2 内にある『Embedded MegaRAID SATA ユーザーズガイド』の「第 2 章 アレイの構成 (SATA セットアップユーティリティ)」をご覧ください。

SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS) をご使用の場合

ServerView Suite DVD 2 内にある『Integrated Mirroring SAS ユーザーズガイド』の「第 2 章 アレイの構成と管理 [BIOS Utility)」をご覧ください。

SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) をご使用の場合

ServerView Suite DVD 2 内にある『MegaRAID SAS ユーザーズガイド』の「第 2 章 アレイの構成と管理 [WebBIOS)」をご覧ください。

4.1.3 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、ServerView Suite DVD 2 内の『オプションガイド』をご覧ください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■ OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

- ・内蔵データカートリッジドライブユニット
- ・ETERNUS などの外付けストレージシステム

■ OS インストール前の留意事項

● 内蔵データカートリッジドライブユニットをご使用の場合

インストール前に必ずデータカートリッジドライブの接続ケーブルを本体よりはずしてください。
インストール完了後接続ケーブルを再度接続し、ご使用ください。

● ETERNUS などの外付けストレージシステムをご使用の場合

AC ケーブルを接続しないなど、OS のインストールが終了するまで、外付けストレージシステムの電源を入れないでください。

4.2 インストール手順

Windows Server 2008 Server Core / Windows Server 2008 R2 Server Core の手動インストール手順について説明します。



- ◆ アレイコントローラとしてオンボードソフトウェア RAID Embedded MegaRAID SATA) を使用の場合、Windows Server 2008 Server Core および Windows Server 2008 x64 Server Core の手動インストールには、フロッピーディスクドライブが必要です。手動インストールを行われるお客様は実施前に必ず USB 接続のフロッピーディスクドライブが準備されていることを確認してください。
- ◆ 外付けのフロッピーディスクを使用する場合は、サーバの電源を入れる前に、USB 接続のフロッピーディスクドライブが接続されていることを確認してください。

■用意するもの

- Windows Server 2008 の DVD (インストールディスク)
- ServerView Suite DVD (本体に添付)
- あらかじめ用意したドライバを記録した媒体

1 Windows Server 2008 の DVD-ROM を準備します。

サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2008 の DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。



- ◆ 32-bit 用と 64-bit 用の DVD-ROM がありますので (Windows Server 2008 R2 は 64-bit のみ)、確認してセットしてください。

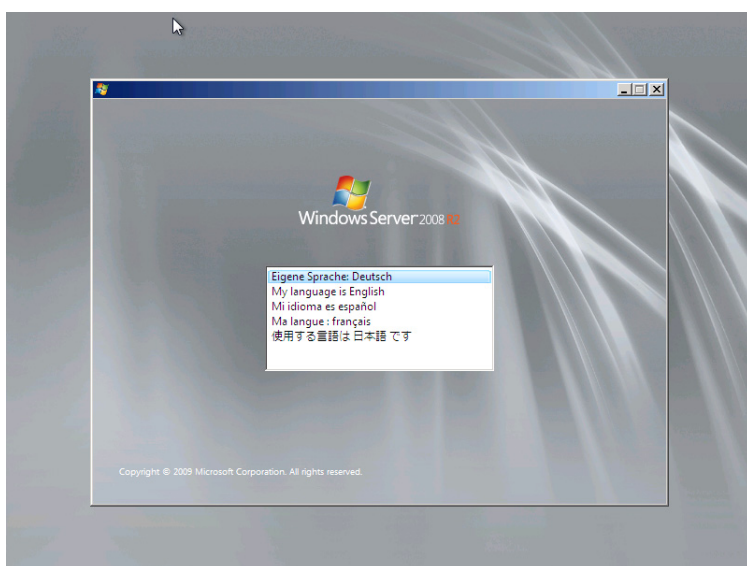
ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD

この場合、メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2008 インストールのセットアップ画面が表示されます。

Windows Server 2008 R2 の場合は、セットアップ画面の前に、次のような言語選択画面が表示されます。使用する言語は 日本語 です。



セットアップ画面に従って各項目を設定した後、[次へ] をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。

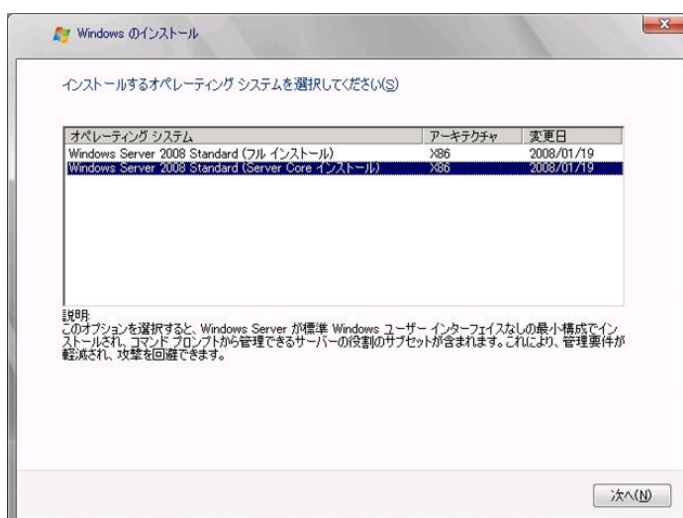


[注] Bit Locker を使用する場合は、インストール時に指定のパーティション構成をする必要があります。詳しくは、次の弊社 HP より「Windows Server® 2008 動作確認情報」→「Windows Server 2008 の一般的な留意事項」の順にクリックし、『BitLocker™ Drive Encryption 機能の留意事項』をご覧ください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/>

3 インストールする Operating System を選択します。

次の画面から「Windows Server 2008 Standard (Server Core インストール)」または「Windows Server 2008 Enterprise (Server Core インストール)」を選択します。



- 4 次の画面が表示されたら内容をよく読んだうえで、[条項に同意します] にチェックをつけて、[次へ] をクリックします。



- 5 RAID のドライバを手動で組み込みます。

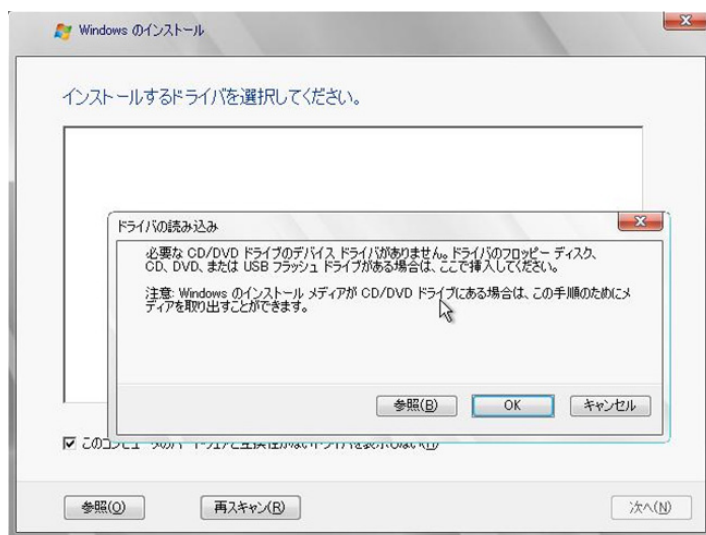
使用するドライバにより手順が異なります。

- ・ [オンボードソフトウェア RAID \(Embedded MegaRAID SATA\) 使用時 \(P.34\)](#)
- ・ [SAS アレイコントローラカード \(MegaRAID SAS\) 使用時 \(P.36\)](#)
- ・ [SAS コントローラカード / オンボード IM \(Integrated Mirroring SAS\) 使用時または、アレイ未構成時 \(SAS ハードディスク\) \(P.37\)](#)
- ・ [アレイ未構成時 \(SATA ハードディスク\) \(P.38\)](#)

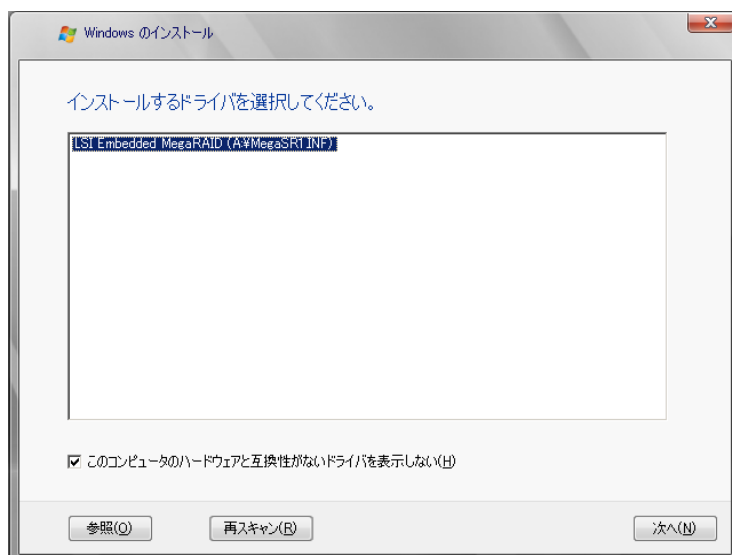
システムの構成によっては、手順 3、手順 4 と順序が逆になることがあります。

オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) 使用時**●Windows Server 2008 の場合****1 次の画面で、ドライバ媒体をセットします。**

[参照] をクリックし、インストールドライバの入っているフォルダを選択します。

**2 インストールドライバを選択後、次のメッセージが画面に表示されます。**

LSI Embedded MegaRAID (A:\MegaSR1.INF)

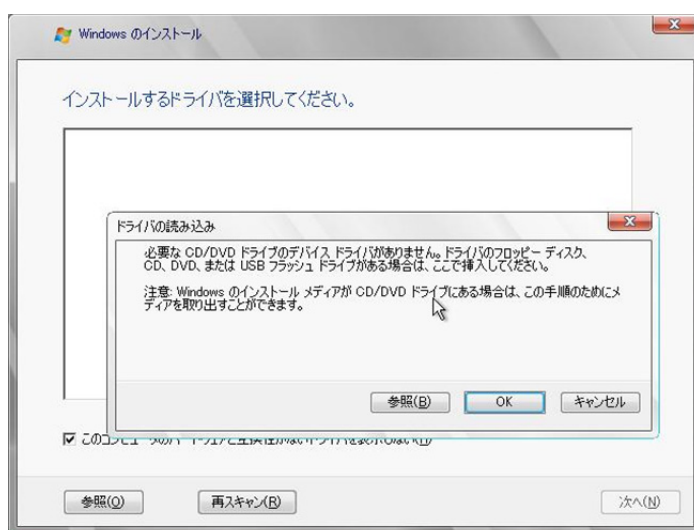
3 [次へ] をクリックした後、[手順 6 OS をインストールします。\(P.38\)](#) へ進みます。

●Windows Server 2008 R2 の場合

- 1 次の画面が表示された後、「ドライバの読み込み」をクリックしドライバインストール画面に移動します。



- 2 次の画面で、ドライバを記録した媒体をセットした後、[参照] をクリックします。



- 3 インストールドライバの入っているフォルダを選択します。
- 4 下記のドライバを選択し [次へ] をクリックしてください。

LSI Embedded MegaRAID

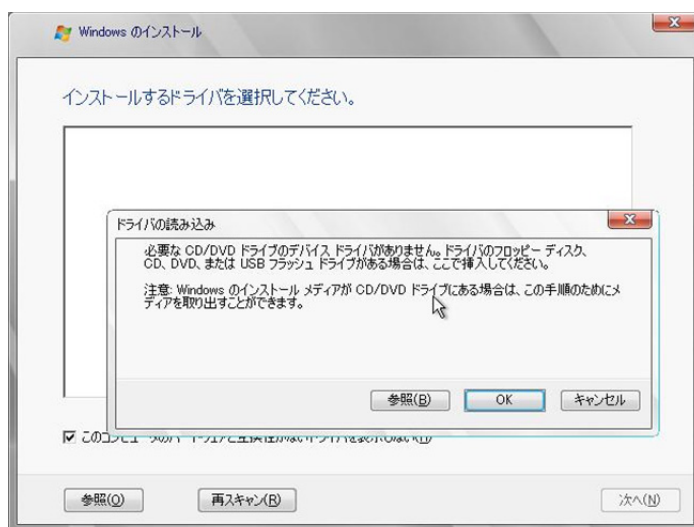
- 5 Windows インストール DVD をセットした状態で、[手順 6 OS をインストールします。\(P.38\)](#) へ進みます。

SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) 使用時

- 1 次の画面が表示された後、「ドライバの読み込み」をクリックしドライバインストール画面に移動します。



- 2 次の画面で、ドライバを記録した媒体をセットした後、[参照] をクリックします。



- 3 インストールドライバの入っているフォルダを選択します。
次のフォルダを選択し、[OK] をクリックしてください。

- 4 下記のドライバを選択し [次へ] をクリックしてください。

RAID 5/6 SAS based on LSI MegaRAID

または

RAID Ctrl SAS 6G 5/6 512MB (D2616)

または

RAID Ctrl SAS 6G 0/1 (D2607)

- 5 Windows インストール DVD をセットした状態で、[手順 6 OS をインストールします。\(P.38\)](#) へ進みます。

SAS コントローラカード / オンボード IM (Integrated Mirroring SAS) 使用時または、アレイ未構成時 (SAS ハードディスク)

●Windows Server 2008 R2 の場合

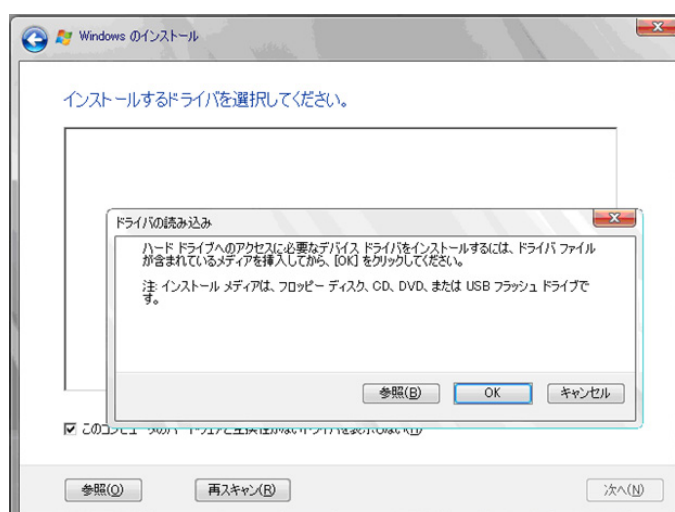
ドライバのインストールは不要です。次の画面が表示された後、「次へ」をクリックし、[手順 6 OS をインストールします。\(P.38\)](#) へ進みます。

●Windows Server 2008 の場合

- 1 次の画面が表示された後、「ドライバの読み込み」をクリックし、ドライバインストール画面に移動します。



- 2 次の画面で、ドライバを記録した媒体をセットした後、[参照] をクリックします。



- 3 インストールドライバの入っているフォルダを選択します。
次のフォルダを選択し、[OK] をクリックしてください。

- 4 下記のドライバを選択し [次へ] をクリックしてください。

LSI Adapter, SAS 3000 series, 4-port with 1064E -StorPort

- 5 Windows インストール DVD をセットした状態で、[手順 6 OS をインストールします。\(P.38\)](#) へ進みます。

アレイ未構成時 (SATA ハードディスク)

ドライバの手動インストールは不要です。[手順 6 OS をインストールします。\(P.38\)](#) へ進みます。

- 6 OS をインストールします。

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。
インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ロゴテストに合格していない旨のメッセージが表示された場合は、[はい] を選択してインストールを続行してください。

- 7 Windows Server 2008 (または x64) Service Pack を適用します。

適用に当たっては次の Web から各装置の留意事項などをご確認ください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/os/2008-sp2/>

- 8 LAN ドライバをインストールします。

以下の Web から最新の LAN ドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードできる手順書にしたがって LAN ドライバをインストールしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

- 9 Intel Chipset のドライバをインストールします。

Windows Server 2008 R2 Server Core をインストールする場合は、ドライバの手動インストールは不要です。Windows Server 2008 Server Core の場合は、次の手順でインストールします。

- 1 PRIMERGY ServerView Suit DVD を WindowsOS がインストールされた端末にセットします。

- 2 PRIMERGY ServerView Suit DVD 内の以下の zip ファイルを解凍します。

[DVD ドライブ] : ¥DRV¥CHIPSET¥INTEL¥Intel_ChipSets.zip

- 3 解凍したファイル内の以下のファイルを対象サーバにコピーします。

[解凍したフォルダ] ¥9.1.1.1020¥infinst_autol.exe

- 4 以下のコマンドを入力し、インストールを実行します。

infinst_autol.exe -S

- 5 「セットアップ完了」と画面に表示されたら、[完了] をクリックしてシステムを再起動します。

- 10 SAS カードのドライバをインストールします。

SAS 拡張カードを搭載している場合、以下の Web から最新の PCI-Express SAS Card Document & Tool CD をダウンロードして、取扱説明書に従って SAS カードドライバをインストールしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

- 11 SNMP サービスをインストールします。

- 1 次のコマンドを実行します。(大文字・小文字の区別がされます)

>start /w ocsetup SNMP-SC

- 2 正常にインストールされていることを確認します。

>oclist | findstr SNMP

実行後、次のメッセージが表示されていれば、正常にインストールされています。

インストール済み：SNMP-SC

12 ServerView エージェントをインストールします。

ServerView エージェントは Web からダウンロードしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

インストール方法については、『ServerView Windows エージェントユーザーズガイド』をご覧ください。



Windows Server 2008 Server Core/2008 R2 Server Core には、ServerView Operations Manager はインストールできません。利用する場合は、別途、インストール可能なシステムにインストールする必要があります。

13 RAID 管理ツール（ServerView RAID Manager）のインストールを行います。

アレイコントローラの『ユーザーズガイド』をご覧の上、必要な設定を実施してください。

14 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼動のために、下記 URL の「留意事項」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、ご覧になり、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフトのダウンロードセンターより入手していただくか、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/os/2008/>

これで Windows Server 2008 Server Core / Windows Server 2008 R2 Server Core のインストールは終了です。

その他のドライバのインストールについては各ドライバのマニュアルを参照してください。

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は、各ツールのマニュアルおよびアレイコントローラのユーザーズガイドをご覧になり、をご覧になり、必要な設定を行ってください。

OS の手動インストール
CA92276-8734-04
発行日 2011 年 1 月
発行責任 富士通株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。